

## 【令和5年度】放課後等デイサービスNEST 自己評価表

	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	意見等
①	利用定員が児童訓練室等スペースとの関係で適切であるか	✓			運営基準に満たしているが利用児童も大きくなりプログラムの内容によっては狭く感じることもある。
②	職員の配置は適切であるか	✓			人員基準より多く配置している。
③	事業所の設備について、バリアフリー化などの配慮が適切であるか		✓		段差のない場所から出入りをしている。トレイに段差があるので配慮が必要だと感じる。
④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	✓			
⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意見を把握し、業務改善につなげているか	✓			アンケート後、取り纏めを行い、事業所内で改善等のミーティング周知をしている。
⑥	この自己評価の結果を事業所のホームページに等に公開しているか	✓			ホームページにて掲載している。
⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			✓	現在は第三者による外部評価を行っていない。
⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	✓			法人として積極的に参加できるようサポートがある。研修の機会を共有し各職員が参加し報告書にて共有しています。

	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	意見等
⑨	アセスメントを適切に行い子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	✓			個別支援計画の作成にあたっては面談を行い、ニーズや課題をヒアリングして作成にあっている。
⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	✓			標準化されたアセスメントシートを用いることで全職員が把握しやすく周知している。
⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	✓			毎月プログラム考案のミーティングを行っている。
⑫	活動プログラムが固定化しないように工夫しているか	✓			プログラムに毎回、療育的視点でのテーマを決めて内容を作成している。
⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題を決め細やかに設定して支援しているか	✓			平日は運動療育をメインに土曜日は外出、工作や調理を行い、学校休業日は子人数でのプログラムを行い自主性を育む支援を行っている。
⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	✓			集団療育を中心に支援を行なっているが個別支援計画にもとづき個別での支援も行っている。個別支援の時は頑張ったカードというものを使いモチベーション高く行っている。
⑮	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	✓			送迎前に行っている。
⑯	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか	✓			送迎後に行っている。

	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	意見等
⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、その支援の検証・改善につなげているか	✓			個別支援計画に沿った記録を意識して記録している。
⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要を判断しているか	✓			半年に一度は見直している。状況によってはもう少し短いスパンで行ってもよいのではと感じることがある。
⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	✓			一人ひとりの個別支援計画に沿って行っている。
⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議のその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	✓			
㉑	学校との情報共有(年間計画等)、連絡調整(送迎等)を適切に行っているか	✓			保護者様を介して行っている。
㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は子どもの主治医等と連絡体制を整えているか			✓	医療的ケア児を受け入れる想定をしていない。
㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解を努めているか		✓		保護者様を介して行う事が多く、全員ではない。
㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報提供等しているか		✓		相談支援事業所を介して行うこと多く、相談支援事業所を利用していない方はできていないことが多い。

	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善、工夫している点
②5	児童発達支援センターや発達障害支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか			✓	相談支援事業所を介して連携を持つことはあるが直接連携をとる機会はない。
②6	わくわくプラザ等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			✓	外出時に公園などでたまたま一緒に遊ぶことはあるが交流目的で活動する機会はない。
②7	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか			✓	法人として参加して周知はされているが、事業所としては参加できていない。
②8	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	✓			送迎時や連絡帳で行っている。定期的に面談を行い状況を伝えたり聞いたりして共通理解に努めている。
②9	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		✓		希望者のみでペアレント・トレーニングと謳っての支援はできていない。
③0	運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明も行っているか	✓			契約時に説明している。支援の内容については支援計画をもとに説明している。
③1	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	✓			個別支援計画についての面談以外にもご希望に応じて面談を行い助言等を行っている。
③2	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	✓			整備し対応している。

	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	意見等
③③	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	✓			活動はSNSを用いている。 連絡はメールや連絡帳で行っている。
③④	個人情報に十分注意しているか	✓			鍵付き書庫で管理している。
③⑤	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	✓			
③⑥	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			✓	できていない。
③⑦	緊急時マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか		✓		策定しており職員には周知、ファイリングし、いつでも確認できるようになっている。保護者への周知ができていない。
③⑧	非常災害の発生に備え、定期的に避難訓練、救出その他必要な訓練を行っているか	✓			年2回の避難訓練を行っている。
③⑨	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	✓			外部研修及び事業所内研修を行っている。

	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	意見等
④⑩	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	✓			確認書として説明をし、署名捺印をいただいている。個別支援計画には川崎市の方から確認書があるから載せないようにと言われ載せていない。
④⑪	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	✓			面談時にヒアリングし、アレルギーがあるかの確認をとっておやつを提供している。
④⑫	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	✓			ヒヤリハットを作成し事例があった時はミーティングを行い周知している。